

## 令和5年度第1回豊橋市立小・中学校通学区域審議会 会議録要旨

- 1 開催日時 令和6年2月19日（月）15時00分～16時20分
- 2 開催場所 教育委員会室（豊橋市役所東館12階）
- 3 出席者 ・委員：芳賀亜希子、河野宏雄、伊藤哲朗、梅田早苗、  
眞木良和、天野明彦、松岡史憲、高梨諭司 ※敬称略  
・事務局：浅倉淳志（教育政策課長）  
鈴木大介（教育政策課主幹）  
戸苅宴子（教育政策課課長補佐）  
加藤 篤（教育政策課指導主事）  
西口 勝（教育政策課政策グループ主査）  
尾瀨祐介（教育政策課政策グループ主事）
- 4 欠席委員 なし
- 5 議 事  
進行：事務局 教育政策課長
  - (1) 委員の紹介  
芳賀委員より順に自己紹介
  - (2) 役員の選任について  
互選により会長に芳賀亜希子委員、副会長に河野宏雄委員を選出  
進行：芳賀会長
  - (3) 所掌事項について
  - (4) 特定地域隣接校選択制について
  - (5) 特認校制度について
  - (6) その他

○主な意見・質問等（要旨）

### 特定地域隣接校選択制について

<天野委員>

同じ町内で松葉小に通う児童と吉田方小へ通う児童がいます。松岡校長先生から見て、吉田方小学校の子どもたちの子ども会での雰囲気はどう感じていますか。

<松岡委員>

私自身も地域のお祭りに参加させていただき、自治会長さんともお話をさせていただきました。自治会長さんも心配されていましたが、子どもたちは特に気にせず、楽しく遊んでいます。先日、

吉田方小学校で町内別ドッジボール大会がありました。同じチームの中に松葉小の子、吉田方小の子といたしましたが、子どもたちの中では近所の子だからという感覚で、特に、松葉小の子だから、吉田方小の子だからという差異はありませんでした。

<天野委員>

二十歳の集いなど費用の面でも、松葉、花田、吉田方の自治会長さんとも話をするなかで、現状はうまくいっていると伺いました。

<教育政策課長>

制度を導入したときには通学の面だけでなく、祭りや子ども会の会費問題なども含めて、当初は多くの課題がありました。教育委員会として、ルール決めなど地域との協議を重ねてきましたが、教育委員会だけで成り立つ制度ではありません。そこで毎年、関係校区の保護者と自治会、学校の代表者との意見交換会を開いています。本年度、夏に開催した意見交換会では、地域に特定地域隣接校選択制が定着してきたこと、災害時の通学路の安全対策、PTA活動、校区の運動会、二十歳の集いなど、多岐にわたって意見交換することができました。この制度は地域のかたにご協力いただくことを再認識できる場でもあるので、継続して開催していきたいと考えています。

<松岡委員>

防災の関係では課題があります。まず我々教員は、子どもたちが学校にいたときにどのような動きをするのかを考えていきます。松葉の校長、花田の校長、そして吉田方、また中学校の校長、近隣の保育園とも連携をとっていき、システムを整えていきます。

<芳賀会長>

意見交換会のなかで防災について話題にしていくことで、この制度がより意味のある制度になっていくと思いました。

<河野副会長>

吉田方校区から松葉小へ登校する場合、鉄道の下をくぐって登校します。一か所に登校の際には集まるので、交通事故や自転車との接触、豪雨のときには水が溜まる心配もあります。今後気をつけていかなければいけないことだと思いました。

#### 特認校制度（小規模特認校制度）について

<梅田委員>

市内全域からこの制度を利用するのは可能でしょうか。

<浅倉課長>

入学許可条件にあてはまれば、保護者の送迎になりますが可能です。

<高梨委員>

今年度、特認校制度を利用して2名が転入し、現在、嵩山小学校では12名がこの制度を利用しております。少人数の落ちついた環境で生活ができたり、自然に恵まれたなかで自然を生かした学習を進めたりしています。地域も受け入れに対して前向きです。卒業後は石巻中学校へ進学する子、地元に戻り校区の中学校へ進学する子もいますが、最近では桜丘中学校を受験し、進学する子が多くなっています。ただ、保護者の送迎の負担はあるので、通学に苦勞されているかたはみえます。

特認校制度（イマージョン教育）について

<河野副会長>

雨天時は、学校まで自動車で送迎する保護者もいると思います。公共交通機関や徒歩による登校をする中で課題もあると思いますがどうでしょうか。

<教育政策課指導主事>

通学班の子どもたちの保護者のかたが当番制で登下校に付き添っております。LINEグループ等で、保護者同士で連絡を取り合う体制を学校で工夫していただいています。

<伊藤委員>

イマージョン教育コースが始まって4年が経過すると思いますが、イマージョン教育コースの人気はどのような現状ですか。

<教育政策課指導主事>

年度によって異なりますが、倍率は2倍から3倍です。入級説明会を聞き、登下校が課題になり断念したかたもいます。

<伊藤委員>

イマージョン教育コースの子どもたちの印象をどう捉えていますか。

<教育政策課指導主事>

英語が好きになった、楽しく学ぶことができるなどの声が届いておりますので、子どもたちにとってもプラスになっていると思います。

<天野委員>

校区外から八町小へ通う子どもたちも校区の行事で活躍しています。学校は違っても校区の子どもたちどうしで仲良くしている様子が見られます。

<芳賀会長>

イマージョン教育コースや小規模校特認校制度の通学については、保護者のご協力で成り立つものだと思います。どのご家庭でもということは難しいと思いますが、特色ある教育を受けていただくことも大切ですので、今後も安全に通学していく体制が整うとよいです。

その他について

<芳賀会長>

委員のみなさまが通学区域全般で日ごろから気になっていることがありましたら、ご意見いただければと思います。

<梅田委員>

通学路関係になりますが、通学路点検をした後、横断歩道や信号をつけてほしいという意見が出ます。子どもたちの安全な登下校のためにも検討していただければと思います。

また通学路で自動車の通行を止める時間帯があります。朝の7時から8時半ごろまで通行を止めているので、時間帯や曜日の見直しを検討していただければと思います。

<教育政策課長>

今後も指定通学路点検は2年に1回実施し、校区の安全を見直していきます。交通規制については警察との協議が必要になってきますので、学校とも相談しながらご意見として声を上げていただければと思います。

<眞木委員>

子どもたちの登下校について気になっていましたが、梅田委員から聞いていただきました。ありがとうございました。

<芳賀会長>

本日はありがとうございました。以上で終了いたします。